

# LR5001 温湿度ロガー 操作ガイド

2013年6月 改訂4版 Printed in Japan  
LR5001A981-04 13-06H



HIOKI LR5001 温湿度ロガーのご購入、  
ありがとうございます。

本書は、本器を初めてお使いになる方のために、  
基本的な操作方法を紹介しています。

本器を実際にご利用になる前には、必ず取扱説明書をお読みください。

LR5000 シリーズ スペシャルサイト  
<http://datamini.hioki.jp/>

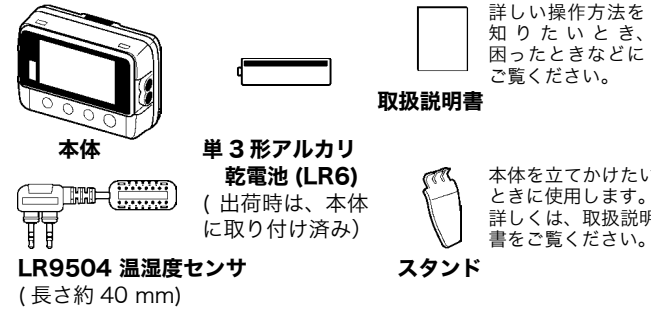
# HIOKI

はじめに  
お読みください

## 1 確認

梱包内容を確認しながら、  
必要なものを用意します。

### 本体および付属品

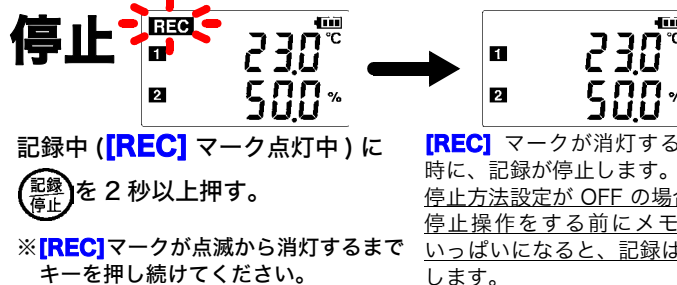
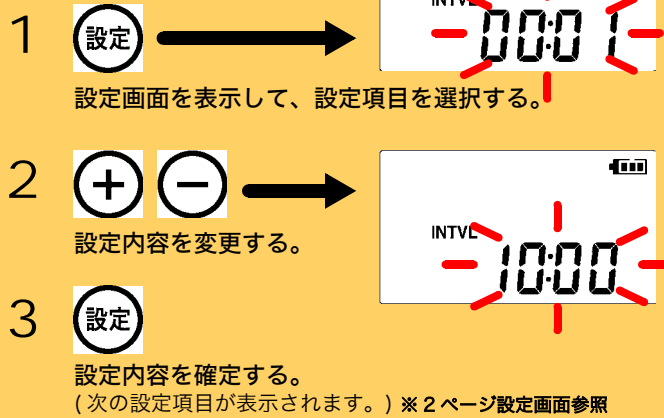


### オプション



## 3 設定

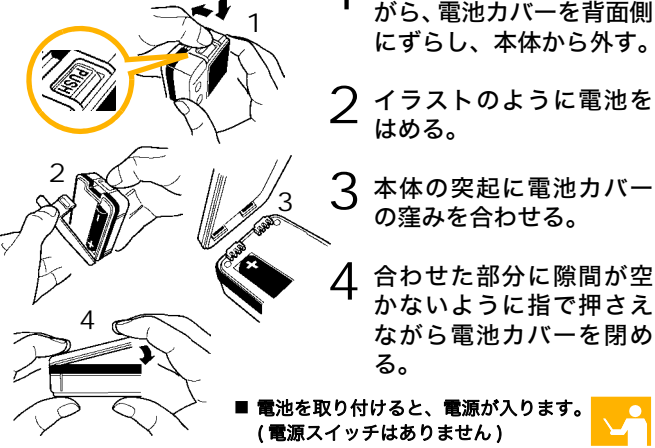
画面例：記録間隔を 10 分に設定する



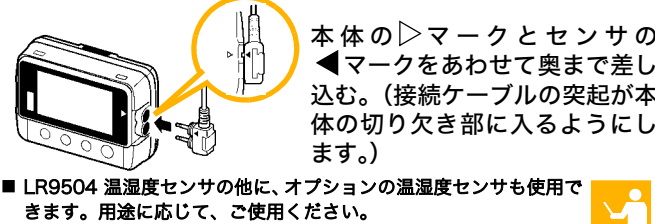
## 2 準備

電池と温湿度センサを本体  
に取り付けます。

### 電池を取り付ける



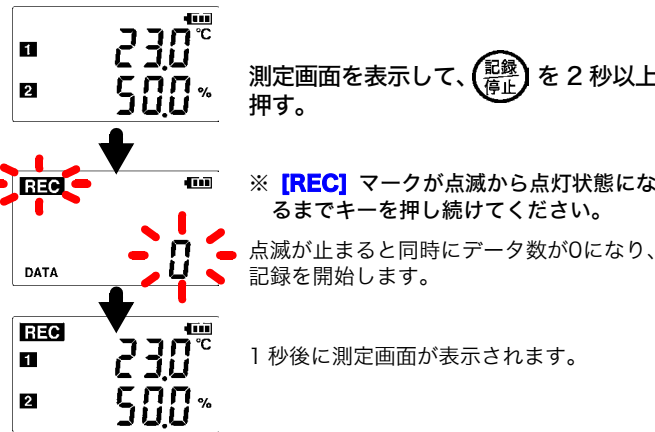
### 温湿度センサを接続する



## 4 記録

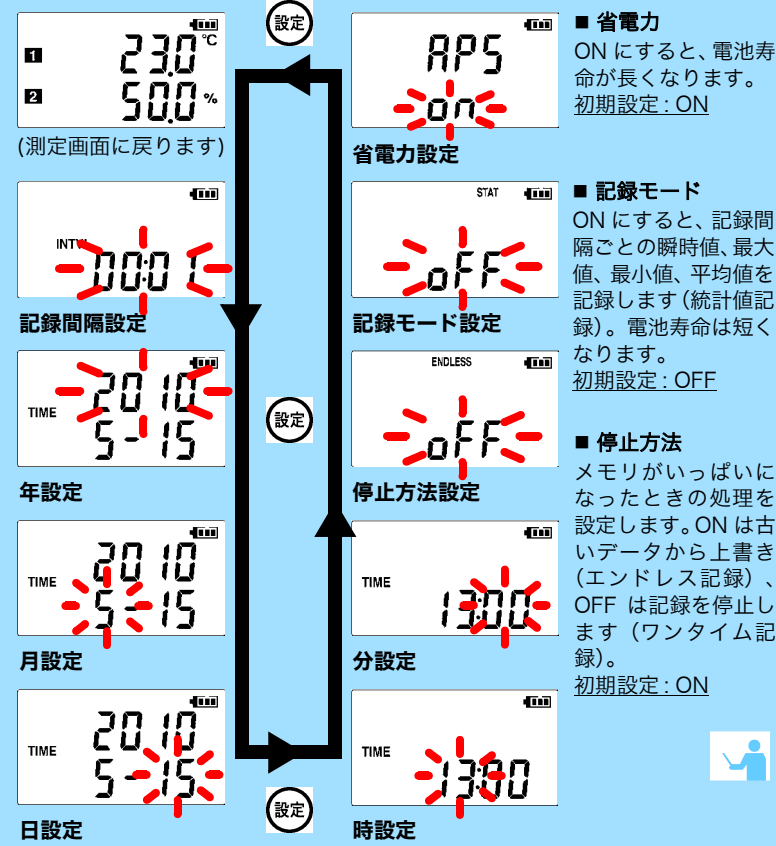
記録を開始する前に、本体を  
設置して、測定前の点検を行  
います。  
(詳細は取扱説明書を参照してください)

### 開始

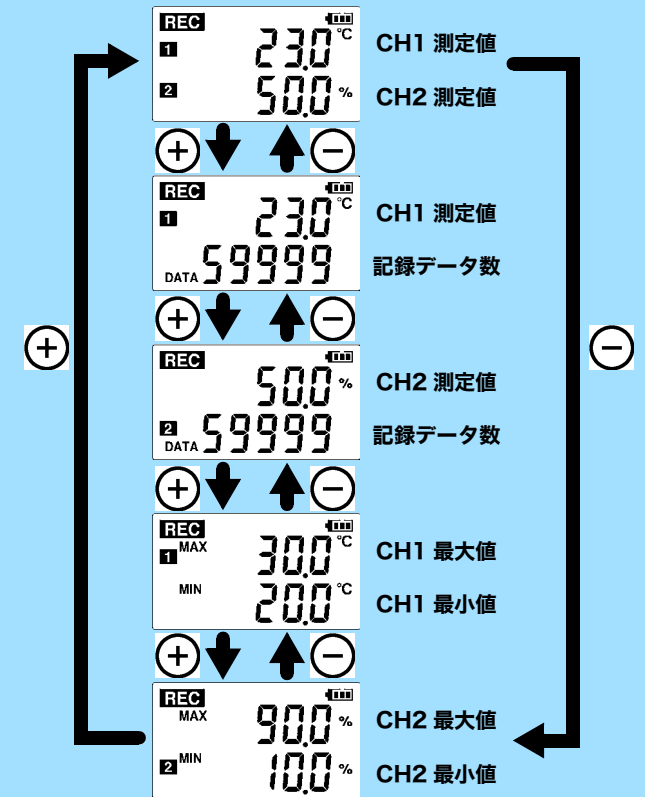


- 本体メモリには、2 回分のデータが保持されます。(2 回分のデータが保持されている状態で記録を開始すると、古いデータは消えますのでご注意ください)
- 記録を停止せずに、コンピュータへ記録データを取り込むことができます。

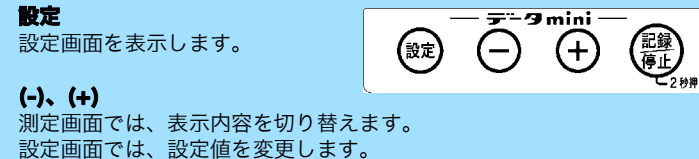
## 設定画面



## 測定画面

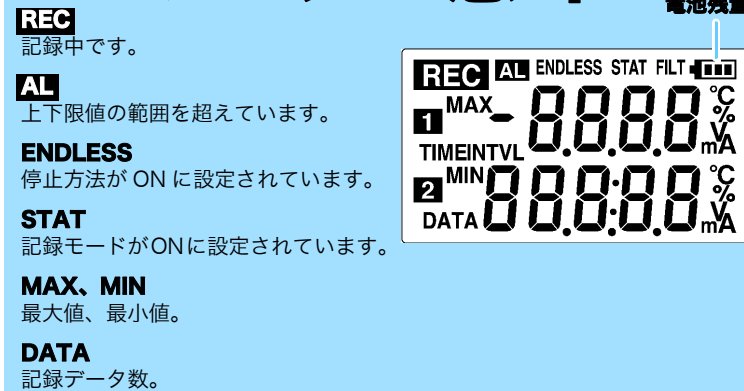


## キーの名前



- 記録 / 停止: 2 秒以上押しすると、記録を開始または停止します。設定画面で押しすると、測定画面を表示します。
- 設定画面: 設定 (記録間隔、日付、時刻など) を行う画面
- 測定画面: 記録データ (測定値、記録データ数など) を表示する画面

## マークの意味



## 困ったときは

- 測定値が表示されない: センサを逆に挿していませんか? センサを十分に奥まで差し込んでありますか? センサの向きを確認して、十分に奥まで差し込んでください。それでも表示されない場合は、センサ、および本体の修理・点検が必要です。お買い上げ店 (代理店) か最寄りの営業所にご連絡ください。注記: 記録データ数が 0 の場合、最大値および最小値は表示されません。
- 画面に何も表示されない: 省電力設定が ON (有効) に設定されていませんか? ON に設定されていると、約 30 秒間何も操作しないと表示が消えます。任意のキーを押すか、通信をすると表示されます。
- 記録を停止していないのに、[REC] マークが消えてしまっている: 停止方法が OFF に設定されていませんか? OFF の場合、メモリがいっぱいになると自動的に記録を停止します。記録 / 停止キーを押して記録を停止するまで、記録を続けたいときは、停止方法を ON に設定してください。(ただし、メモリがいっぱいになると、古いデータは上書きされます)
- 測定したはずのデータが消えてしまった: 記録停止後、再度記録を開始しませんでしたか? 記録を停止した後、誤って記録を開始してしまうと、前々回のデータは消えてしまいます。ご注意ください。(本体メモリには、前回分と今回分のデータが保存されています。)
- 本体のメモリを消したい: PC アプリを使用して消去します。詳しくは、取扱説明書をご参照ください。
- 電池がすぐ終わる: ご購入時、本体に取り付けられていた電池をそのまま使用していませんか? マンガン電池を使用していませんか? 新品の単 3 形アルカリ乾電池 (LR6) をご使用ください。

# 5 コンピュータにデータを取り込む、表示する

## ■ PC アプリ (LR5000 用ユーティリティソフト) の動作環境

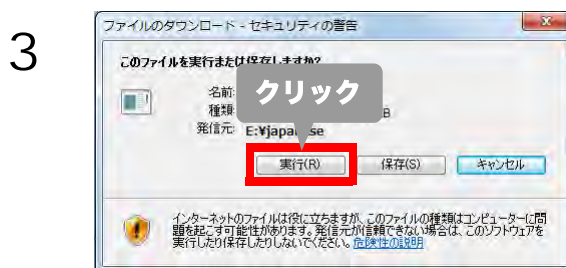
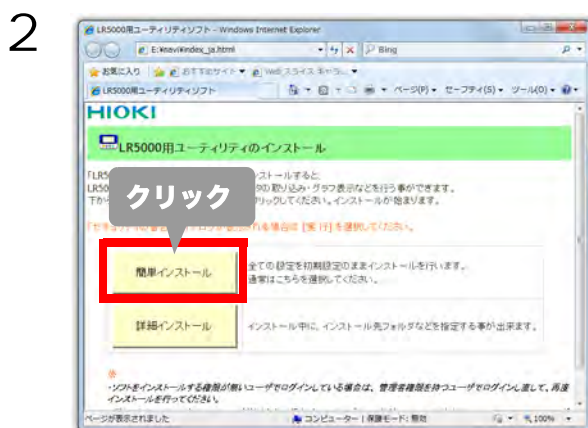
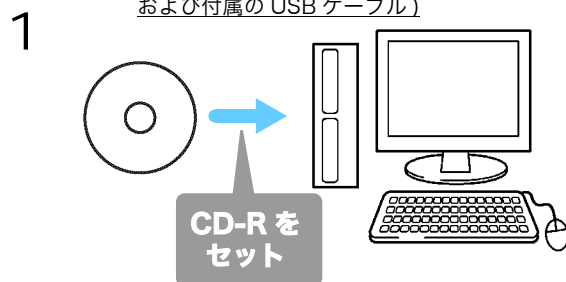
- ・ CPU 動作クロック 1 GHz 以上
- ・ メモリ 512 MB 以上
- ・ OS Windows XP: SP2 以上  
Windows Vista: SP1 以上  
Windows 7
- ・ ライブラリ .NET Framework 2.0/3.5
- ・ インタフェース USB
- ・ モニタ解像度 1024 × 768 ドット以上
- ・ ハードディスク 空き容量 30 MB 以上  
(上記に加え、記録データの保存用に別途  
空き容量が必要です。 .NET Framework  
2.0 がインストールされていない場合は、  
別途約 500 MB)

## ■ PC アプリがインストールできないときは？

- ・ 上記の動作環境に適したコンピュータをご使用ください。
- ・ 取扱説明書の「PC アプリをインストールする」の項をよく読んで、再度インストールしてください。特に、次の事項に注意してください。
  1. 「administrator」などの管理者権限でログインする。
  2. インストールを開始する前に、コンピュータで起動しているすべてのアプリケーションを終了させる。

## 1 PC アプリをインストールする

用意するもの: LR5091 または LR5092 付属の CD-R  
(Windows XP の場合は、LR5091 または LR5092  
および付属の USB ケーブル)



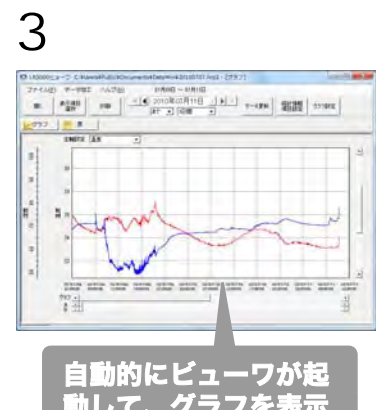
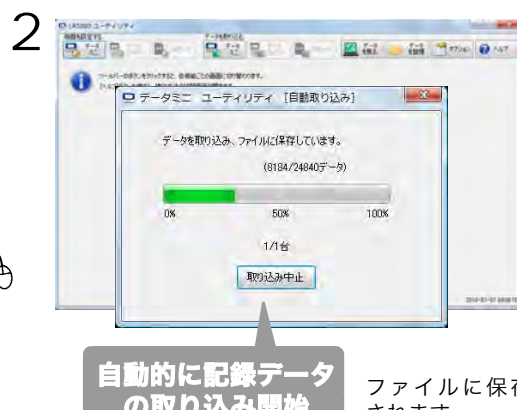
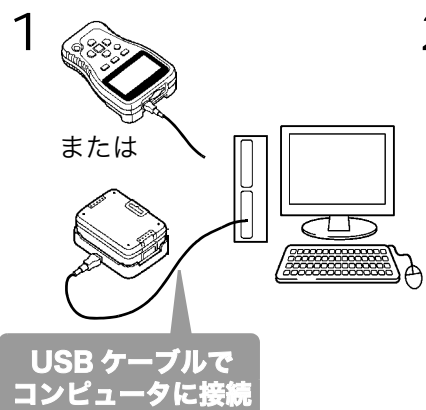
## 2 PC アプリを起動する

Windows の [スタート] メニューから、[プログラム]-[HIOKI]-[LR5000 用ユーティリティ]-[LR5000 ユーティリティ] を選択し、プログラムを起動する。  
次回 Windows ログオン時からは、PC アプリが自動起動します。(タスクトレイにアイコンが表示されます)



## 3 記録データをコンピュータへ取り込む (保存する)、グラフ表示する

用意するもの: LR5091 または LR5092 および付属の USB ケーブル



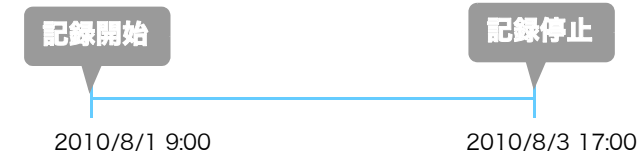
# PC アプリを使えばこんなことができます

## ★ 詳細な設定をする

LR5000 「データミニ」シリーズ、LR5092 データコレクタの設定  
ができます。  
本体ではできない詳細な設定も PC アプリでは可能です。

例えば...

- 記録開始 / 停止方法と時刻を設定して、予約した時刻で自動的に  
記録を開始 / 停止できます。(タイマ予約)



- 測定値を任意の値に調整して表示できます。(スケーリング)

変換例で指定	ABを直接指定	単位の設定
元のデータ	スケーリング結果	補助単位
0.2 °C	→ 0 °C	文字列
50.4 °C	→ 50 °C	表示桁の設定
		<input checked="" type="checkbox"/> 小数点位置を固定する
		小数点以下 1 桁

- 上下限値を設定して、測定値が設定した範囲から外れると、本体  
画面に [AL] マーク (アラームマーク) を表示できます。  
(アラーム判定)

- 測定データにコメントを付けることができます。

## ★ 記録データを加工する

コンピュータへ取り込んだデータを加工することができます。

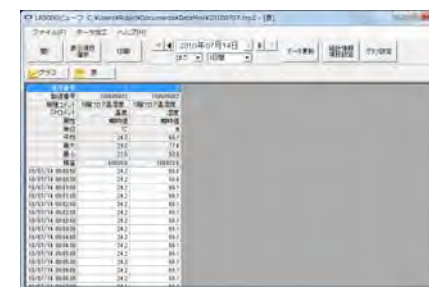
- 任意の値に調整して表示する (スケーリング)
- 簡易的に電力を計算する (クランプロガーの測定値を利用)
- 簡易的に電気料金を計算する (クランプロガーの測定値を利用)
- 稼働率を計算する
- 積算する
- 露点温度を計算する (温湿度ロガーの測定値を利用)

## ★ 記録データを整理する

コンピュータへ取り込んだデータを整理することができます。

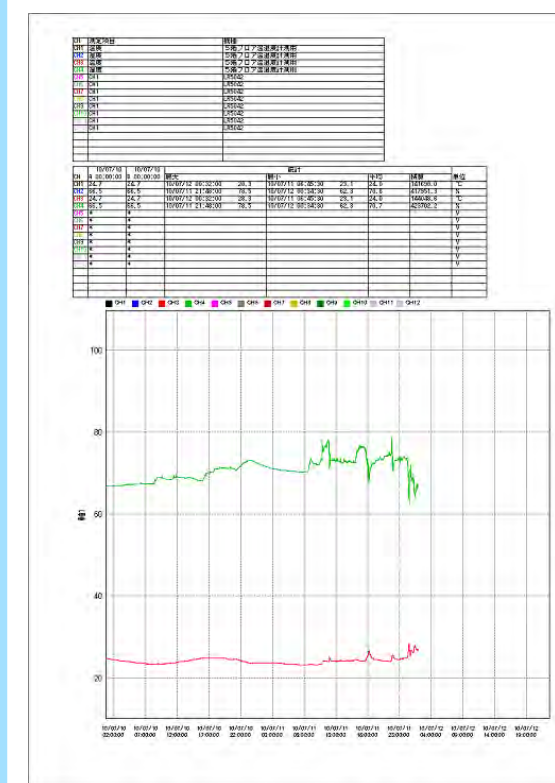
- コピー (ファイルをコピーして、別のフォルダに保存)
- 移動 (選択したファイルを、別のフォルダに移動)
- 削除 (選択したファイルを削除)
- 合成  
(複数の記録ファイルの一つのデータに合成して、別のファイル名  
で保存)
- 切り出し  
(指定した期間のデータを切り出して、別のファイル名で保存)

## ★ 記録データを表で表示する



## ★ 記録データを印刷する

グラフの印刷例



■ 詳しくは、取扱説明書をご参照ください。

